

安保・戦争国会粉碎へ!

2015年6月8日
祝! No.300

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

「戦争・改憲・民営化の安倍たおそう!」



6/7国鉄全国集会に16500人!!

斎藤委員長の連帯アピール!

この間全学連は、京都大と沖縄大で本当に内容の深い、歴史的な自治会選挙に勝利しました。ここから音を立てて強大な学生運動の歴史を切り開かれてゆく、その突破口が切り開かれました!

6・15デモを、安保国会をめぐる決戦として本当に大きなものしたいと思っています。昨年「7・1 集团的自衛権行使容認の閣議決定」後、多くの怒りの行動が湧き起こり、2名の方が焼身自殺で抗議の意思を示しました。この6～8月の安



保法制と戦争をめぐる攻防で、もう一度こういった怒りが日本中に吹き荒れていきます。6月15日を、その怒りと思いに応える闘いにしていきたい。

日本からゼネラルストライキを切り開く闘いの先頭に、私たち全学連も立ちます。「諦めること」と「歯車になること」を最も強制される職場・キャンパスの現場から、決意と決意、思いと思いをつなげ、ゼネストを実現しよう!

安倍に辞任を「お願い」するのではなく、安倍を倒す闘いを日本から切り開こう! 6月15日の国会包囲デモをその突破口にしていきたい!

戦争法案粉碎! 安倍たおせ!

〈6・15国会包囲大闘争〉

6月15日(月) 9時～	衆議院第二議員会館前で座り込み開始
12時～13時	霞ヶ関デモ(11時45分に日比谷公園霞門集合)
15時半～16時	文部科学省へ申し入れ行動
16時半～17時半	第二議員会館前で国会への抗議集会
18時半～	全国学生集会(参議院議員会館101号室)



祝! 300号 ゼネスト情勢をともに闘おう!

元全学連委員長 金山 克巳(在任1968年12月~1971年8月・横浜国立大)

〈現：星野文昭さんを取り戻そう！ 全国再審連絡会議事務局〉

◆簡単な自己紹介

『書記局通信』300号、おめでとうございます。私は1965年4月、横浜国立大学工学部に入学しました。ベトナム反戦闘争、日韓条約反対闘争を契機に、全学連の闘いに参加しました。67年10・8羽田闘争の後、書記局体制強化のために、東京に移りその一員として活動するようになりました。

68年12月から71年8月まで2年9カ月、全学連委員長を務めました。とは言っても、自分でやった全学連大会は2回だけで、後は「メッセージが届いているので読み上げます」の連続でした。70年安保・沖縄闘争の中で7回逮捕され、総計8年間、獄中で過ごしました。81年に最後の出獄をしてからは、前進社で活動してきました。2001年以降は、星野文昭さん解放の闘いを担っています。現在は、「星野文昭さんを取り戻そう！ 全国再審連絡会議」の事務局です。



マスコミでは機動隊と激突する派手な場面だけが取り上げられますが、実はこれはほんの一部です。当時も、闘いの大半は地道な日常活動でした。ピラをまき、クラス討論を行い、個別にオルグする、今と何も変わりません。その基礎には『前進』の読み合わせ、マルクス主義の学習等がありました。また、マスコミは70年の闘いイコール学生運動と描きますが、実際は、全学連とともに「反戦派労働者」が武器をもって膨大に決起しました。数千人の逮捕者の中に教育労働者や自治体労働者が多数おり、政府・国家権力にとどまらず、既成野党や体制内指導部にも衝撃を与えました。

70年安保・沖縄闘争は、間違いなく数百万人の規模で労働者の決起をつくり出した全面的な階級決戦です。国家権力は「革命の現実性」を突きつけられ、これへの反革命として、破防法弾圧、カクマル白色テロ、そして星野文昭さんに対する死刑・無期懲役をかけたのです。

◆70年安保・沖縄闘争

「70年決戦は、戦後世界体制の転換点において、70年安保・沖縄決戦を政治的基軸とする全面的な階級決戦として闘われた」(『革共同50年史』下・110頁)。70年安保・沖縄闘争の突破口となった67年10・8羽田闘争は、やはり歴史に残る凄まじい闘いでした。私は1500人の学生とともに法政大学から出撃し、羽田空港に向かいました。弁天橋上の装甲車を乗っ取り、それを先頭に突撃して、「やった！ 羽田空港突入だ」という寸前まで行きました。その時、凶暴化した機動隊に逆襲され、京大生・山崎博昭君が虐殺されました。



1969年8月9日、渡航制限撤廃・晴海闘争で演説する金山さん。

67年10月8日=羽田闘争(弁天橋上)



◆星野文昭さんの闘い

1971年11月14日、星野文昭さんは目前に迫った沖縄「返還」協定批准を阻止するために渋谷闘争に決起しました。この闘いは、11・10沖縄全島ゼネストに連帯し、沖縄・本土の分断を打ち破る渾身の決起でした。闘いの中で機動隊員1名が死亡し、国家権力は「無実を百も承知で(星野さん談)」、彼に殺人罪をでっち上げました。

1980年代以降、国鉄分割・民営化で労働組合をつぶし、労働者階級の階級性を解体する新自由主義攻撃がかけられました。動労千葉は数々の死闘を闘い、団結を守り抜きました。さらに2010年4・9政治和解を打ち破り、国鉄闘争全国運動が大きく発展しています。星野さんの闘いは、国鉄決戦と一体です。40年不屈・非転向という壮絶な闘いは、労働者階級への絶対的な信頼なしにはありえません。星野さんは、動労千葉・動労水戸と固く一体で闘っています。星野暁子さんは、獄中結婚から28年、「獄外の星野文昭」として闘いの先頭に立っています。

今年の5・15闘争のただなかで、沖縄での星野絵画展が歴史的な成功をかちとりました。辺野古新基地建設への怒り、安倍政権への怒りと一体となった巨大な勝利です。この勝利は、「星野闘争は100万人の怒りと結びつく。必ず星野さんを取り戻せる」という確信を生み出しています。星野闘争は「かわいそうな人を救ってください」という運動ではありません。労働者人民の怒りと一つになり、支配階級を打倒して、まさにその中で星野文昭さんを階級の手から奪還する闘いです。

◆6・15国会包囲闘争をともに闘う

戦争法案と安倍政権への怒りがわきあがり、新たな高揚と激動の時代が来ています。6・15闘争に全学連とともに決起します。戦争法案粉碎、安倍打倒、星野文昭さんを取り戻そう！